

1 東日本大震災にかかる震災関連講座

1 原発事故の風評被害をどうはねかえすか				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	教授 石光 真	受講者人数	上限なし
放射能防護のために絶対に必要なことは何か。必ずしも必要ないことは何か。大事なのは①科学的に確定している学説を知ること②科学的に結論の出ない論点をどう扱うか、という論点です。②については政府や国際機関の基準の意味を知ることが大切です。そして、福島県で私たちが風評被害をはねかえすためにできることは何か。経済学者が分析し、提案します。				
2 ハリケーン・カトリーナ災害から学ぶ持続的な震災復興				
対象	高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 青木 孝弘	受講者人数	40名程度
東日本大震災から8年の歳月が過ぎ、県民による持続的な復興の取り組みがますます重要になっています。そこで、2005年にアメリカ南部を襲った大型台風ハリケーン・カトリーナによる甚大な被害から復興し、全米トップクラスの「起業しやすい街」として生まれ変わったニューオーリンズの取り組みについて、現在の福島県の状況と対比しながら学習します。				

2 短期大学の教育に関連する講座

3 現代社会における産業とデザインの役割				
対象	中学生・高校生			
講師	産業情報学科	各専任教員	受講者人数	上限なし
この講座では産業情報学科で学ぶ「経営学」、「商学」、「会計学」、「経済学」、「情報学」、「インターフェース」、「インテリア」、「クラフト」、「グラフィック」、「プロダクト」の各専門分野について簡単に説明し、産業情報学科で学ぶことのイメージを捉えていただきます。また各専門分野について学ぶことがこれからの社会でどのように役立っていくのかについてわかりやすく説明します。				
4 食物と栄養と健康				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	食物栄養学科	各専任教員	受講者人数	50名程度
健康で生き生きと楽しく生活していくためには、いろいろな食べ物をどのように食べるかの知恵が大切です。また、からだを健康に保つための運動の仕方も知っておかなくてはなりません。この講座では、食物栄養学科で学ぶ、「食べ物ってなに?」、「おいしく、からだにいい食事をつくるには?」、「病気のときの食事はどうするの?」、「ウォーキングって?」など、『食べること』と運動の知恵について、お話しします。				
5 幼児教育・保育と福祉				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	幼児教育学科	各専任教員	受講者人数	50名程度
幼児・児童の発達、障がい、貧困、虐待など、こどもを取り巻く環境の諸問題について目を向け、こどもの生活の質向上のために活用可能な主な方法、技術について学ぶとともに、幼児教育・保育と社会福祉（ソーシャルワーク）のそれぞれの視点に注目し、教育・社会福祉双方の現場で両者が連携することの意義と効果、今後の可能性について学びます。				

3 経済に関する講座

6 ドイツで太陽光・風力発電が増えた結果起きている困ったこと				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	教授	石光 真	受講者人数 上限なし
<p>日本では2016年4月に始まった電力の全面自由化が、ドイツでは1998年から始まっています。自由化で競争が起きて電力料金が安くなることが期待されましたが、2000年に再生可能エネルギー法が施行され、固定価格買取制度（FIT）が始まりました。太陽光や風力による電力を高く買い取り、その費用を電力料金に上乗せするので、ドイツの電力料金は高くなってしまいました。それでも太陽光・風力発電によって二酸化炭素排出が減らせればいいのですが、太陽光・風力の変動のバックアップ電源には、最新のエコな天然ガス火力発電は自由化による競争に勝てず、ドイツでは昔ながらの石炭が使われています。またベース電源には原発に代って褐炭という質の低い安い国産石炭の使用が増えています。</p> <p>その他、南北送電網建設の遅れによる、原発の多いフランスからの電力輸入、北ドイツの風力発電を使い切れないことによる、ポーランドなどへの迷惑な電力輸出など、困った問題がいろいろ生じています。</p> <p>その中でドイツはどのようにしているのか、2012年にFITを導入した日本はどうすればいいのか、具体的にお話しします。</p>				

4 地域問題・地場産業に関連する講座

7 地域を住みよく変えるために ～新しい地域づくりの手法を学ぶ～				
対象	高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授	青木 孝弘	受講者人数 上限なし
<p>少子高齢時代に突入し、これまで私たちの暮らしを支えてきた地域の維持が、難しくなっています。この講座では、地域に新しい風を吹き込み、再生をはかるための、地域づくり計画やコミュニティビジネス、学生と地域が連携した活性化の手法について学習します。</p>				

8 ふくしまの若きアントレプレナーから学ぶ仕事術				
対象	中学生・高校生			
講師	産業情報学科	准教授	青木 孝弘	受講者人数 上限なし
<p>アントレプレナー（起業家）とは、地域社会や企業の課題解決に自ら立ち向かい、新たなビジネスを興す人、その仕事によって社会に大きなインパクトを与える人を指します。この講座では、ふくしまで活躍する若きアントレプレナーの事例を、イラストや写真で紹介しながら、起業に必要なマインド、仕事への向かい方、人生の生き方を学び、豊かなキャリア形成につなげることを目的といたします。</p>				

9 買物弱者問題の対応に向けて				
対象	一般			
講師	産業情報学科	講師	八木橋 彰	受講者人数 上限なし
<p>近年、商店街や住宅地近くの小売店が減少し、食料品や日用品の買物が困難な消費者が増加しています。また、この問題は、中山間地域のみならず、都市部にも拡大しています。その一方で、食料品や日用品を提供する小売業は、採算性の問題を無視できず、対応が遅れているのが現状です。本講座では、この問題の解決に向けて、小売業、地方自治体、消費者の連携体制や今後のあり方について参加者の皆様とともに考えたいと思います。</p>				

10 人口減少社会のまちづくりを考える				
対象	高校生・一般			
講師	特任研究員		牧田 和久	受講者人数 上限なし
<p>少子高齢化の進展に伴い人口減少問題は大きくクローズアップされています。特に地方都市を含めて市町村や地域のまちづくりのあり方が問われています。空き家や耕作放棄地の増加、地域コミュニティや町内会活動の低下、独居老人世帯の増加、公共交通の赤字化、中心市街地の空洞化、商店やガソリンスタンドなどの廃業、現業の低迷と後継者不足、労働力の低下や労働環境の悪化、経済規模の縮小化など人口減少問題は多岐にわたっています。ここでは、空き家問題を中心に地域の維持・再生を図るためには、どのような展開方法が可能かについて考えてみたいと思います。</p>				

11 人生百年時代の生涯学習の役割と持続可能な地域づくり				
対象	一般			
講師	特任研究員	森 文雄	受講者人数	上限なし
2050年には65歳以上世代が38%となり、超高齢化社会が到来し、労働年齢人口率（20-65歳）は45%まで低下する。高齢者の平均余命は今後も伸び続け、高齢期はさらに長くなっていく。他方、年金の支給開始年齢引き下げが予定されていることから、就労期間の延長が必要となる。特に、40-50代の時期は一生働き続けられるだけの知的武装が再度必要な時期となる。一方、学校教育で修得した知識・技能の陳腐化は社会変化の進行速度に比例して急激に進行していく。よって、時代変化に適応できる研修機会であるリカレント教育（学び直し教育）の重要性がますます増大している。同時に健康寿命を延ばすための生涯スポーツ分野、教養分野と趣味3分野のバランスのとれた生涯教育の構築による地域づくりについて考える。				
12 先進的中山間地域の活性化モデル				
対象	高校生・一般			
講師	特任研究員	森 文雄	受講者人数	上限なし
農業もグローバル競争の波に大きく影響される時代となっていますが、会津地方の中山間地域農業の大半は大規模化が困難な条件不利地域での農業です。また、全国的にも奥会津地域は高齢化率がかなり高い地域で、人口減少が続いています。しかし豊かな自然資源や伝統文化資源に恵まれた地域でもあります。それらの多様な資源を活用した会津中山間地域の活性化策や課題について、グリーン・ツーリズムや農業の6次化等の先進的モデルを取り上げることによって考えます。				
13 過疎地域における棚田オーナー制度の導入と展開方法について				
対象	一般			
講師	特任研究員	森 文雄	受講者人数	上限なし
ワーキングホリデーの実施から棚田オーナー制度の立ち上げに至る経過について、奥会津の条件不利地域である柳津町久保田地区、喜多方市高郷町揚津地区、会津美里町関山地区、下郷町芦ノ原地区および三島町大石田地区について、それぞれの地域特性や地域資源を踏まえて、その特長や課題についての実際的な話から、中山間地域の集落活性化について考えます。				
14 地場産業とマーケティング				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	特任研究員	森 文雄	受講者人数	上限なし
長い伝統を持つ地場産業の集積が全国各地に見られますが、その多くが停滞ないしは衰退傾向にあります。海外製品との競争や新たな消費者ニーズへの適応などに課題を抱えています。競争力のある製品づくりの手法として、産業観光の手法や地域ブランド化がありますが、その課題や問題点および可能性について、イタリアと比較しながら提案します。				
15 イタリアの地場産業とまちづくり				
対象	高校生・一般			
講師	特任研究員	森 文雄	受講者人数	上限なし
イタリアの地場産業とまちづくりは世界有数の歴史と伝統文化を土台にして形成されています。イタリアのものづくりは量産型ではなく、多品種少量生産中心の成熟化社会市場をターゲットとしたものづくりが特長です。また、それらの産品は輸出競争力が強いだけでなく、地域商業と有機的に結合し、中心市街地商業の活性化にも結びついています。産業、商業、観光やまちづくり等の側面から地場産業の可能性について多面的に考えます。				

5 コンピュータ・情報化社会に関連する講座

16 クチコミ分析・データ分析をはじめよう				
対象	高校生・一般			
講師	産業情報学科	教授 中澤 真	受講者人数	40名程度
<p>ネット上のつぶやき、ショッピングの購入履歴、位置情報などあらゆる情報がデジタル化され蓄積される時代になりました。この膨大な情報はビッグデータとよばれビジネスだけでなく教育など広い分野で注目されています。この講座ではこれらのデータの中からSNSなどに投稿された大量のクチコミについて、情報の意味がわかるように視覚化する基礎的手法から、実データに対応した統計的なテキストマイニングの手法まで、受講される方の目的に応じた解説をします。また要望に応じて、ExcelやRMeCabといったソフトウェアを使ったテキストマイニングの活用方法についても取り上げたり、統計的なデータ分析の際にやってしまう失敗例なども紹介します。</p>				
17 やさしい暗号のはなし				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	教授 中澤 真	受講者人数	40名程度
<p>暗号というとコワモテな印象が強いですが、我々の周りにはスマートフォンや地上デジタル放送など暗号技術がいたるところで使われています。この講座では暗号文を作ったり、解読したりということを実際に体験してもらい、暗号の基本的なしくみを楽しみながら理解してもらいます。また、高校生以上の講座の場合には、情報処理技術者試験にも登場する公開鍵暗号や電子署名などの技術について、その考え方やアルゴリズムについて事例を交えながら解説します。</p>				
18 インターネット・スマホ 子どもにどう使わせる？				
対象	一般（子どもをもつ保護者の方など）			
講師	産業情報学科	教授 中澤 真	受講者人数	上限なし
<p>スマホやインターネットは子どもにとっても身近な存在になっています。一方、スマホだけでなくゲーム機や携帯用音楽プレイヤーでも簡単にネットへアクセスできるようになったことで、保護者の知らないところでSNSでのトラブルに巻き込まれたり、有害情報に接してしまったりするケースも増えています。また、保護者によるペアレンタルコントロールがうまくできないとネット依存になってしまうこともあります。そこで、この講座ではスマホなどの情報機器を子どもに安心して使わせるために、トラブル事例の紹介、保護者が最低限知っておくべきネット知識、フィルタリングの活用法などについて解説します。</p>				
19 スマホ・ネットと上手につきあうために				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	教授 中澤 真	受講者人数	40名程度
<p>スマホ用のアプリをダウンロードしたらおかしな画面が表示されるようになった。知らないうちにSNSの自分のアカウントが利用された。ウイルスの警告画面が表示されたので、OKをクリックしたら操作できなくなった・・・このように身の回りにはネットにまつわるセキュリティ上のトラブルがたくさんあります。また、SNSなどの普及により子ども同士でのネット上のトラブルやネットいじめ、ネット依存など、使い方に起因するネットトラブルも深刻になっています。この講座では、インターネット利用時の自己防衛の方法について、対象者の年齢に合わせた事例を交えながら学びます。可能であればPCやスマートフォンを用いた体験的な学習も可能です。受講者した方が自信を持ってインターネットの世界を歩けるようになることを目指します。</p>				
20 ネットビジネスの可能性				
対象	高校生・一般			
講師	産業情報学科	教授 中澤 真	受講者人数	40名程度
<p>ネットビジネスは工夫次第で、小さな資金によって大きな効果を上げる可能性があります。この講座ではWeb上での広報活動、市場調査、決済システムなど、ネットビジネスの実例や効果などについてわかりやすく解説し、個人や中小企業にとっての活用方法について解説します。また、AI、ビッグデータ、IoTなどの新しい技術によって、これからのビジネスや社会の形がどのように変わっていくのかということについても時間の許す範囲で取り上げます。</p>				

21 小学生から学べるかんたんプログラミング					
対象	小学生3年生以上～中学生				
講師	産業情報学科	教授	中澤 真	受講者人数	30名程度
<p>現在の情報化社会には欠かせないコンピュータ。これらはすべてプログラムで動いています。このプログラムを作ること、すなわちプログラミングをコンピュータを使いながら学びます。内容は小学生が楽しく・わかりやすく学べるように、キャラクターを使ったクイズやゲームのプログラムを作成します。プログラムのしくみを理解できるだけでなく、筋道を立てて考える力、構成などを考える力、空間や距離などの立体認識力の向上も期待できますので、この機会にコンピュータサイエンスの世界を体験してみましょう。</p> <p>※ 算数、音楽などと関連付けた内容にすることも可能ですし、プログラムでドローンを飛ばすことも体験できます。</p> <p>※ 受講者がコンピュータを操作する環境が必要となります。環境がない場合には、本学の施設での受講も可能です。また、複数回にわたる連続講座にも対応します。</p>					

22 先生のためのプログラミング教育導入ことはじめ					
対象	小中学校教職員（教育関係者）				
講師	産業情報学科	教授	中澤 真	受講者人数	40名程度
<p>小学校でプログラミング教育が必修化される2020年まで待たなしのところまでできましたが、何から始めたらよいか困っている学校がまだまだ多いようです。とくに総合の学習の時間で単発的・体験的にプログラミングに触れさせるだけでなく、算数や理科といった一般教科の中でプログラミングを関連付けた授業をするには先生方が十分に理解していることが必要になります。この講座では、小学校中学年～高学年向けのプログラミングの授業の導入から、算数や理科などでの発展的な授業展開まで、どのように進めたらよいかをお話します。また、コンピュータを利用できる環境があれば、実際にプログラミングを体験しながら学ぶことも行います。まずは、先生自身がプログラミングに触れることから始めてみませんか？</p> <p>※ コンピュータ環境がない場合には、本学の施設を利用した講座も可能です。また、複数回にわたる連続講座にも対応します。</p>					

6 経営学・会計学に関連する講座

23 会社ってなんだろう					
対象	中学生・高校生				
講師	産業情報学科	教授	平澤 賢一	受講者人数	100名以下が望ましい
<p>日清食品、アディダス、WOWOW、ヨネックスという会社名をご存じでしょうか。テニス選手の大坂なおみさんのスポンサーです。ところで、これらの会社は何をしている会社かご存じでしょうか。多くの会社が私たちの生活と密接な関わりを持っています。便利な商品やサービスを提供する会社や社会的貢献に注力する会社がある一方で、ときに社会的な問題を引き起こす会社もあります。中学校の「公民」では、株式会社について学んでいるかと思います。中高生の皆さんの多くは、やがて何らかの形で「会社」で「働く」こととなりますが、「会社」と「企業」の違いも含め、社会における「会社」の役割を考えてみましょう。このテーマに「働いてなんだろう」を合わせてお話しすることも可能です。</p>					

24 国際化する企業					
対象	中学生・高校生・一般				
講師	産業情報学科	教授	平澤 賢一	受講者人数	100名以下が望ましい
<p>身の回りに Made in Vietnam や Made in China といった日本製以外の商品を見かけませんか。日本から外国へ、外国から日本へ進出する企業があります。海外に工場を作り、その国の人々を雇う企業も多数あります。外国人が沢山働く企業も日本でも見られるようになりました。企業はなぜ外国へ進出し、外国人を雇うのでしょうか。外国人と一緒に職場ではどのような苦勞があるのでしょうか。1989年の「ベルリンの壁崩壊」が東西冷戦終結につながり、市場のグローバル化が加速したともいわれます。企業のグローバル化に伴う諸課題について事例を交えてお話ししますが、皆さんと共に考える機会としたいと思います。（ご希望があれば、東西冷戦中にソ連経由で訪れたベルリンのお話もできます）</p>					

25 ダイバーシティ経営のABC					
対象	中学生・高校生				
講師	産業情報学科	教授	平澤 賢一	受講者人数	100名以下が望ましい
<p>「ダイバーシティ」という言葉を耳にしたことはありませんか。「多様性」と訳されます。性別や人種や年齢などの見た目だけではなく、文化や価値観なども含め、多様な人材を積極的に活用して会社経営にも良い影響を与えようという考え方です。さらに、「許容する」意味の「インクルージョン」がなければなりません。「女性」が活躍することがダイバーシティだと思っている会社がまだ見られますが、それでは十分ではありません。日本社会では、「障がい者」の活用もまだまだです。次世代を担う皆さんとこのテーマで考える機会を持てればと願っております。</p>					

26 お店の作り方				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 青木 孝弘	受講者人数	40名程度
<p>「自分のお店をつくりたい!」と思った時に、「自分はこのお店をつくりたいと思っています!」と答えられる青写真があると、その思いは伝わります。この講座では、お店づくりに必要なアイデアを練り、ビジネスモデルの基礎を学びます。</p>				
27 起業家ってどんな人?				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 青木 孝弘	受講者人数	40名程度
<p>起業家（アントレプレナー）とは、地域社会や企業の課題解決に自ら立ち向かい、新たなビジネスを興す人、その仕事によって社会に大きなインパクトを与える人を指します。この講座では、ベンチャー企業や個人事業、ものづくりや老舗企業、NPOなど様々な職場で活躍する若い起業家にスポットライトを当て、起業家のマインド（心構え）や仕事術について学びます。</p>				
28 仕事のやり方を変える方法				
対象	高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 青木 孝弘	受講者人数	40名程度
<p>あなたの今の仕事のやり方は、本当に効果的な方法でしょうか?この講座では、PCM（プロジェクト・サイクル・マネジメント）や、BSC（バランス・スコアカード）などの業績評価の手法をワークショップ（参加型学習）形式で学び、論理的な解決方法を身につけます。</p>				
29 チームワークとリスク管理				
対象	一般			
講師	産業情報学科	准教授 青木 孝弘	受講者人数	40名程度
<p>本格的な少子高齢社会の到来により、生産年齢人口が減少する中、組織や地域における協働のあり方、働き方、知識や技術の伝承方法などが課題になっています。本講座では、介護や医療、ものづくり企業などの具体的な事例をもとに、組織におけるチームワークとリスク管理について考えてみます。</p>				
30 利益の仕組み				
対象	高校生			
講師	産業情報学科	准教授 大橋 良生	受講者人数	40名程度
<p>普段の生活の中で買い物をしていると、同じ商品なのに、あっちの店とこっちの店で価格が違うことに気がつくと思います。この講座では、商品価格の裏側にある利益の仕組みについて学習します。</p>				

31 会計に関する仕事のいろいろ				
対象	中学生・高校生			
講師	産業情報学科	准教授 大橋 良生	受講者人数	40名程度
<p>公認会計士、会計事務所、監査法人、ファイナンシャル・プランナー、税理士、国税局、会計検査院など、会計（お金）と深く関連する職業・資格は聞いたことはあるけど、実はあまり知らないことが多いのではないのでしょうか？この講座では、会計に関する職業・資格・検定についてお話しします。</p>				

32 マーケティングってなんだろう？				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	講師 八木橋 彰	受講者人数	上限なし
<p>マーケティングとは、消費者を理解し、それに適した効率的・効果的な製品開発や販売活動を行うことです。こうした活動は、一般的にはビジネスでしか行われていないと思われがちですが、実は、皆さんも日常生活、例えばテスト勉強や部活動、さらには旅行などのさまざまな局面で無意識に実践しています。この講座では、マーケティングについて、ビジネスの視点のみならず、日常生活の視点を交えて解説いたします。</p>				

33 流通・商業の役割				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	講師 八木橋 彰	受講者人数	上限なし
<p>普段、私たちはスーパーやコンビニエンス・ストアなどの小売店を通じて買物を行っていますが、そこで購買する商品はどうのようにしてたどり着いていると思いますか。また、現在では、遠くの産地で取れた肉や魚を新鮮な状態で買うことができますがそれはなぜでしょうか。さらには、福島県はコンビニエンス・ストアの歴史にも深く関わりを持っていますが、それはなぜでしょうか？この講座では、こうした疑問について、日本の流通・商業の具体的な事例を踏まえながら解説いたします。</p>				

34 消費者行動の不思議—あなたもだまされている？				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	講師 八木橋 彰	受講者人数	上限なし
<p>皆さんは、赤といえば〇〇、青といえば〇〇など色に対するイメージを持っていると思います。企業はこのイメージを巧みに利用して、皆さんが商品を自然に手に取り購入するように誘導することがあります。この講座では、なぜこのようなことができるのか、ということ消費者行動論の理論的な観点で説明するとともに、皆さん自身が消費者でもあることから、実演やワークショップを交えて解説します。</p>				

7 建築・デザインに関連する講座

35 まちを再生する99のアイデア				
対象	一般			
講師	産業情報学科	教授 柴崎 恭秀	受講者人数	上限なし
<p>シャッター通りになってしまった商店街や街並みの景観を整備し人の賑わいを取り戻すためのアイデアを、実践例を含めてご紹介いたします。また東日本大震災を経験して分かりました街としての備えや復興のきっかけづくりの手法について、著書「まちを再生する99のアイデア」を参照しながら皆さんと一緒に考えていきます。</p>				

36 色彩入門				
対象	高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 高橋 延昌	受講者人数	30名程度
<p>普段の生活でも色にはいろいろな効果があります。また、最近はパソコンでカラフルな書類や発表資料をつくることがありますが、そこでの配色効果も重要になってきています。そのような身近な問題解決にも役立つような色の働きについて、入門的な内容で紹介します。</p>				
37 錯視入門				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 高橋 延昌	受講者人数	30名程度
<p>目の錯覚を「錯視」といいますが、デザインその他視覚伝達方法に応用されていることが多々あります。その錯覚の原理および応用例について、実際に体験しながら知ることができます。</p>				
38 ホームページデザイン講座（初心者コース）				
対象	高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 横尾 誠	受講者人数	20名程度
<p>今インターネット上にはたくさんのホームページがあります。その中にはきれいに整ったホームページ、見やすいホームページなどいろいろあります。どのようにしたら自分が作るホームページがきれいに整ったサイトに見えるだろうか。見やすくなるだろうか。そのようなホームページデザインを目指すための講座です。ホームページデザイン初心者コースです。</p>				
39 ホームページデザイン講座（経験者コース）				
対象	高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 横尾 誠	受講者人数	20名程度
<p>ホームページを制作する際の作業要素として、1.情報の構造化、2.コーディング、そして3.デザインがあります。特に、2、3は日々変化し発展しています。この講座では新しい技術やデザインを対象に、ディスカッションしながら新しい表現のホームページを提案する場としたいと思います。ホームページデザインの今後のトレンドについて考えるための講座です。ホームページデザイン経験者コースです。</p>				
40 ヒューマンエラーとデザイン				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	講師 沈 得正	受講者人数	40名程度
<p>石油ストーブの消し忘れによる火事、操作ペダルの踏み間違いによるクルマの衝突等の事故は毎年ニュースで報じられており、ほとんどの事故は人間に起因する誤り、すなわちヒューマンエラーが原因といわれます。本講座では、「エラーの起因は本当に使用者のせいなのか」「なぜエラーが起こるのか」「エラーを防ぐためのデザイン」について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。</p>				

41 竹材・木材を活用した感性価値デザイン					
対象	中学生・高校生・一般				
講師	産業情報学科	講師	沈 得正	受講者人数	40名程度
感性価値とは、生活者の感性に働きかけ、共感を得ることで生まれる商品やサービスの付加価値のことです。多様化する人々の価値観に対応するものづくりには、視覚、触感覚による美しさや品質向上などの感性価値を製品に付与することが今後一層求められると考えられます。本講座では、デザインの視点からどうやって材料の感性価値を付加させるのか、それにどうやって材料の活用可能性を広げるのかについて、竹材・木材を活用した感性価値デザインの例を挙げながらご紹介いたします。					
42 ポスターをデザインしてみよう！					
対象	小学生・中学生・高校生				
講師	産業情報学科	講師	北本 雅久	受講者人数	20名程度（応相談）
19世紀から現代に至るまで、人の視線を惹きつけるポスターが数多く制作されてきました。プログラムの前半は優れたポスターデザインを鑑賞し、情報の伝達方法を学びます。後半は文字や写真、イラストレーションなどを用いてポスターを制作し、視覚に訴えかける紙面の構成方法を身につけます。鑑賞と制作を通して、ポスターデザインの可能性と魅力を体感していきます。※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。					
43 ロゴをデザインしてみよう！					
対象	小学生・中学生・高校生				
講師	産業情報学科	講師	北本 雅久	受講者人数	20名程度（応相談）
街を歩くと様々なロゴに出会えます。それらは企業や商品、イベントなどのイメージを具現化し、社会にアピールするための目印です。このプログラムでは、イメージを周りの人に発信するロゴをデザインします。試行錯誤を重ねながら制作することで、表現力・伝達力を高めるきっかけになるでしょう。※制作内容などの詳細は受講者（学年・人数）ごとに決定します。					
44 19世紀ロンドンの住宅街デザイン					
対象	高校生・一般				
講師	特任研究員		時野谷 茂	受講者人数	上限なし
ロンドンの住宅街はテラスハウスと呼ばれる独特のスタイルで構成されています。それは主に19世紀に造られ今も多くが現役の住宅として使用されています。テラスハウスは1630年にイニゴ・ジョーンズが数家族の住戸を集めて建設することで宮殿の様な立派な建物を街に出現させる目的で初めて試みたと言われてはいますが、それは町中で独特な発展を遂げ、様々な姿を見せるに到りました。その様子を紹介します。					
45 デザインて何？					
対象	中学生・高校生				
講師	特任研究員		時野谷 茂	受講者人数	上限なし
「それはデザインです。」こんな言葉を良く耳にします。デザインとはうまく説明しにくい感覚的なものを表すのに便利な言葉。はたしてそうでしょうか。デザインはもっと実際的な根拠をもって語られるべきものであるし、人々の生活に密接に関係しているものです。これはデザイン。これもデザイン。そんなデザインの多様性とデザインの本質について考えてみましょう。					

46 狙われない防犯住宅				
対象	高校生・一般			
講師	特任研究員	牧田 和久	受講者人数	上限なし
<p>全国の住宅対象の侵入盗の侵入手段では、ガラス破り、焼き破り、切り破り、カム送り解錠、サムターン回しなどが増加傾向にあり、検挙率は低下しつつあります。</p> <p>こうした犯罪に対して、狙われやすい場所とは、狙われない防犯住宅とは、どのような対策を行う必要があるのか、設計から防犯製品・設備を含めた、最近の情報を解説するお役立ち「防犯対策講座」です。</p>				

47 ユニバーサルデザインのまちづくり				
対象	高校生・一般			
講師	特任研究員	牧田 和久	受講者人数	上限なし
<p>過去のまちづくりは、概ね成人の平均値が基準となりデザインされてきました。しかし、乳幼児から高齢者までに至る様々な人々から見ると、まちなかには多くの障害が存在し、社会参加や活動を難しくしています。高齢社会が進んできた今日、まちづくりは誰のためかが改めて問い直されています。人を区別することなく、誰にも優しいユニバーサルデザイン（UD）が普及しつつありますが、このUDのまちづくりについて考えます。</p>				

8 工芸に関連する講座

48 うるしてなに？				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	教授 井波 純	受講者人数	40名程度
<p>漆という言葉は意外と若い方も知っていますが、どういう物かについては全くと言っていいほど知られてはいません。この講義では、漆の特徴や性質について解説し、日本の歴史の中での漆芸について検証しながら、独特の発展を遂げた漆芸文化について理解を深めていきます。</p>				

49 うるしうるわしのアジア				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	教授 井波 純	受講者人数	40名程度
<p>漆は、日本のみならず東南アジアを中心に広く分布しています。それぞれの国に漆を用いた文化があり生活の中で息づいています。この講義では映像資料をもとに、アジアの様々な漆文化を紹介し、日本の漆文化の独自性も考察しながら、より漆に対する理解を深めていきます。</p>				

50 お気に入りの器をいつまでも（金継ぎのすすめ）				
対象	一般			
講師	産業情報学科	教授 井波 純	受講者人数	20名程度（応相談）
<p>普段の生活の中で、誰でもお気に入りの器を持っていると思います。それは、毎日使うものであったり、特別なものであったり、陶磁器だったり漆器だったりさまざまですが、ふとしたことで割れたり、欠けたりして残念な思いをしたことはありませんか？この講座では、漆を用いた「金継ぎ」という器の修復技法について講義を行います。使い捨て文化から、物を大切に意識へと徐々に変化している現在、はるか昔から日本で行われてきた修復技法は、新たな景色を器に与える、現代でも価値のある技法です。</p>				

9 栄養・健康に関連する講座

51 ウイルスによる病気のはなし				
対象	高校生・一般			
講師	食物栄養学科	教授 左 一八	受講者人数	上限なし
<p>「ウイルス」と聞くと得体が知れない怖いイメージを持っているかもしれませんが。ニュース等でインフルエンザ、デング熱、エボラ出血熱、風疹など、人に病気を起こすウイルスのことが多く報道されています。これらのウイルスを中心にとりあげてその正体・特徴、予防・治療などについて詳しくお話します。科学的に明らかにされていることを理解して、ウイルスによる病気に立ち向かいましょう。</p>				
52 糖質のはなし				
対象	高校生・一般			
講師	食物栄養学科	教授 左 一八	受講者人数	上限なし
<p>私たちの体の中で糖質がどのようなしくみで利用されているのか、利用がうまくできなくなるとどんな体の変化がおきるのかについて解説します。甘いものを食べ過ぎるとなぜ太るの？糖質ダイエットはだいじょうぶなの？糖質の吸収をゆるやかにする食品（トクホ）にはどんなものがあるの？などなど、糖質にまつわる身近なことをあわせてお話します。</p>				
53 くすりのはなし				
対象	高校生・一般			
講師	食物栄養学科	教授 左 一八	受講者人数	上限なし
<p>病院で診察を受けた後に「処方せん」を受け取って薬局に行くときくすりや渡されます。なぜ病院でくすりがもらえないの？なぜ薬局で病院と同じような質問を受けるの？薬局の中ではたらいっている人はなにをしているの？調子が良くなってもなぜくすりを飲みきらないといけないの？薬を飲んでいいるときに食べてはいけないものがあるの？ジェネリックって何？どことなくくすりがあるの？などなど、くすりにまつわる身近なことをお話します。</p>				
54 食生活改善地区組織育成支援について				
対象	一般・市町村			
講師	食物栄養学科	教授 鈴木 秀子	受講者人数	上限なし
<p>食生活改善地区組織は、戦後から国民の食生活改善および健康づくりのために活動してきました。今後は、地域力を高める組織活動が期待されています。本講座では、地域力再生の担い手としての地区組織（食生活改善）の育成支援をどのように進めたらよいのか、一緒に考えていきます。</p>				
55 食育を考えよう！				
対象	保育所・幼稚園、小・中学校、一般			
講師	食物栄養学科	教授 鈴木 秀子	受講者人数	上限なし
<p>幼児・学童期に望ましい食習慣を育成し、食を通じて豊かな人間性の育成を図ることは重要です。しかし、近年は社会環境や生活様式の多様化に伴い「食」が疎かにされ、子どもたちの心と体の健康問題が指摘されています。本講座では、食材・料理・栄養・おもてなし — 食事の場面や食べ方までも大切にしてきた日本人の伝統的な食文化「和食」を基に、日常的で楽しい家庭の食育、保育所・幼稚園、学校の食育のすすめ方について考えていきます。</p>				

56 「食生活の自立」を応援します！				
対象	中学校・高校・一般			
講師	食物栄養学科	教授 鈴木 秀子	受講者人数	上限なし
健康で豊かな人生をおくるために食生活の自立は重要です。「おいしく食べる」「楽しく食べる」「バランスよく食べる」「自分で料理を作る」「自分の食生活を管理する」ために、一緒に学びましょう。				
57 子どもの食生活と栄養				
対象	一般			
講師	食物栄養学科	教授 鈴木 秀子	受講者人数	上限なし
子どもが順調に発育するためには適切な栄養が必要です。また、子どもの食は家庭や学校の中で育まれるので、子どもたちが健全な食習慣を身につけるためには家族や学校の取り組みが重要です。しかし、近年、核家族や共働き世帯が増え、家族が集う食卓の減少や栄養バランスの偏り・不規則な食事の増加が、子どもの食や健康に影響を及ぼしています。各発育期にどのような栄養が必要なのか、食生活はどのようなことに留意すれば良いのかについてお話します。				
58 食物アレルギーと体の機能				
対象	中学生以上			
講師	食物栄養学科	准教授 漆谷 博志	受講者人数	上限なし
私たちの食生活における身近な問題点として、食物アレルギーがあります。アレルギーとは、本来なら害のない物質を体が異物として認識・記憶してしまい、これらを排除しようとする免疫反応が過剰に働くことで、様々な症状が出ることを指します。このアレルギーが食べ物により引き起こされることを、食物アレルギーと呼んでいます。本講座では、食物アレルギーについて、私たちの体の成り立ちなどに焦点を当て、その仕組みについて解説を行います。				
59 生活習慣病のきほん～体の中で何が起きているかご存じですか？～				
対象	一般			
講師	食物栄養学科	講師 加藤 亮	受講者人数	40名程度
BMI（ビーエムアイ）、体脂肪率、HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）、悪玉・善玉コレステロール、中性脂肪、血圧など・毎年健康診断でみる検査値について、名前は知っているけど何を現しているのかイマイチわからないものはありませんか？本講座では、肥満、糖尿病、脂質異常症（高脂血症）、高血圧症について体の中で何が起きているのかを簡単に説明します。病気のしくみを知れば、検査値が何を現しているのか理解できます。さらに食事（栄養素）と病気、検査値の関係もお話します。				
60 介護予防運動について				
対象	一般（高齢者施設関係者等）			
講師	幼児教育学科	講師 渡部 琢也	受講者人数	40名程度
超高齢者社会の中、平均寿命の延伸のみならず、健康に過ごすことのできる健康寿命の延伸が求められています。そこで生活機能向上のトレーニングおよび様々な介護予防プログラムの理論及び高齢者筋力向上等トレーニングについて学びます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。				

61 高齢化の進行と拡大する健康格差 —健康寿命をさらに延ばすには—				
対象	一般			
講師	特任研究員	森 文雄	受講者人数	上限なし
我が国の平均寿命は男女ともますます延びてはいるけれども、健康寿命との開きは拡大する傾向にある。その結果、健康を損ない自立した生活が困難な要介護状態の高齢者は増加する傾向にある。この課題を解決するために、地域ごとや個人ごとの健康格差が拡大する要因を明らかにすることによって、健康寿命をさらに引き上げる方策について明らかにしたい。すなわち、健康格差を社会的要因と個人的要因の両面から考察します。加えて、生涯学習と生涯スポーツの概念を用いて健康づくりについて、講師の体験や実践例をもとに、実技を交えながら具体的に紹介します。				
62 メタボリックシンドローム ～最新の知識と対策～				
対象	高校生・一般			
講師	特任研究員	安江 俊二	受講者人数	上限なし
メタボリックシンドロームについて、最新の知見を紹介し予防と対策について具体的に指導します。				
63 生活習慣病を予防し健康を維持増進するための有酸素運動などについて				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	特任研究員	安江 俊二	受講者人数	40名程度
内臓脂肪型肥満を改善し、生活習慣病を予防し、健康を維持増進するために、有酸素運動、抵抗性運動およびストレッチの理論と実践方法について具体的に指導します。				
64 老化と寿命 ～最新の知見と対策～				
対象	高校生・一般			
講師	特任研究員	安江 俊二	受講者人数	上限なし
老化はなぜ起きるのでしょうか？ 寿命は延ばせるのでしょうか？ 老化・寿命のサイエンスの最先端の研究からえられた知見を紹介し、その対策について勉強しましょう。				
65 酵素は偉大な働き手				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	特任研究員	安江 俊二	受講者人数	上限なし
生命は代謝によって維持されています。代謝の立役者が酵素です。ヒトの代謝において酵素がどのように働いているか勉強しましょう。				

66 スローステップ・スロージョギング講座				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	特任研究員	安江 俊二	受講者人数	40名程度
肥満、ねたきり、認知症、メタボ、生活習慣病等の予防および健康寿命を延ばすために、スローステップ運動やスロージョギング運動を始めましょう。スローステップ・スロージョギング運動は、膝や腰にやさしい運動です。特にスローステップ運動は室内でも行えるので雨の日や積雪時にも実施可能です。体構成（体脂肪・筋肉量）や運動時心拍数を測定し、健康度にあった安全で有効なスローステップ・スロージョギング運動を指導します。				

10 食品・調理に関連する講座

67 おいしさを科学する				
対象	高校生 ・ 一般			
講師	食物栄養学科	教授 宮下 朋子	受講者人数	40名程度
味噌汁や煮魚、野菜炒めや唐揚げ。日頃良く作る料理だけれど、どうも美味しく出来ない。上手にできない。そんな経験は良くあることと思います。調理とは、食品に化学的・物理的变化を加えて食物にする操作です。料理を上手においしく作るコツについて、科学的な視点からお話します。				

68 おいしく減塩しましょう				
対象	一般			
講師	食物栄養学科	教授 宮下 朋子	受講者人数	25名程度
減塩に気を遣うことは、味噌汁や煮物の塩味をただ薄くすることと思いませんか？そのためにおいしさは失われていませんか？本講座では、塩分濃度差の識別検査を通し、ご自分の好む塩味が適正かどうかを知ってもらいます。さらに、調理実習を通し、塩分を減らしてもおいしく料理を作る方法を知っていただきます。（本学調理実習室での実施限定）				

69 シミュレーション・あなたの食生活 ～フードモデルで楽しく知ろう栄養バランス～				
対象	一般			
講師	食物栄養学科	講師 加藤 亮	受講者人数	40名程度
皆さんは食事バランスガイドをご存じですか？現在、料理の組み合わせによって栄養バランスをとる方法が推奨されています。本講座では最新の栄養指導ツールを使って、皆さんの食事のカロリーや栄養バランスを採点します。方法は100種類以上のICタグ内蔵フードモデルから皆さんが普段とっている料理を選んでセンサー台に置くだけです。エネルギーや栄養素の過不足が瞬時に計算されて一目瞭然です。併せて料理の分類のしかた、バランスの良い組み合わせ方をお話しします。目指せ料理の組み合わせ名人！！				

70 フードモデルとICタグを用いた新しいツールで食事バランスを学ぼう				
対象	一般			
講師	食物栄養学科	講師 加藤 亮	受講者人数	50名程度
精巧なフードモデルにICタグを組み込んだ新しいツール、食育SAT（さっと）システムは料理を選んでトレイに乗せるだけで、瞬時に栄養価を計算し、選んだ食事のバランスを診断します。本講座ではこの新しいツールを用いて、料理の組み合わせによる栄養バランスの取り方を学んでいただきます。目指せ！！組み合わせ名人！！やせたい人、より健康になりたい人、生活習慣病で食事療法を始めた人、どんな対象でも対応します。				

71 魅力的なトレハロースを知る				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	食物栄養学科	講師 小林 未希	受講者人数	30名程度
市販の洋菓子や和菓子の原材料名を見ると、高い割合でトレハロースが記載されているのをご存知ですか？トレハロースは椎茸やなめこ等のきのこ類や海藻類など身近な食品にも含まれている糖ですが、食品・料理に及ぼす効能が高いとされています。本講座では、トレハロースの効果的な使い方についてやさしくご紹介します。				
72 本物のだしでおいしく減塩お味噌汁を体験しよう				
対象	一般			
講師	食物栄養学科	助手 阿部 桂子	受講者人数	20名程度
市販のだしの素を使用して作るお味噌汁には、意外と塩分が多く含まれているのをご存知ですか？最初は薄いと感じても、食べ慣れることによって、旨味を美味しく感じることができます。薄味を実感してみたい、料理の濃い味付けや食生活を見直したいという方、薄味のお味噌汁を体験してみませんか。				
73 体験しよう！食品の加工				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	食物栄養学科	助手 阿部 桂子	受講者人数	16名
何気に食べている食品は、どのようにしてできているかご存知ですか？食品を加工することは、その食品の栄養価が高まったり、保存性が高まったりと、様々な利点があります。材料から味噌やジャムを加工してみませんか？実際に自分で作ってみると、いろいろな発見がありますよ。				
74 楽しく過ごすための「一人暮らしの食生活」				
対象	一般			
講師	食物栄養学科	助手 水尾 和雅	受講者人数	30名
これから一人暮らしを始める方、一人暮らしをしているけれど食生活が乱れている方・・・そんな方々と一緒にどのような食生活をすれば良いのか考えていきたいと思えます。あまり難しく考えず、楽しい食生活が送れるようになりましょう。				
75 災害時の袋調理				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	食物栄養学科	助手 舟木乃里恵	受講者人数	20名程度
災害時を想定して、袋を使った調理方法を実際に調理を行いながら学んでいきます。子どもから大人までできる簡単な調理です。また、洗う必要のない紙のお皿の作り方も紹介します。もしもの災害に備えて一緒に学んでみませんか。				

11 社会福祉に関連する講座

76 施設内虐待を考える～なぜ援助者が虐待に走るか、その防止策と対策～				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	教授 市川 和彦	受講者人数	50名程度
2011年6月障害者虐待防止法が成立し、福祉各領域における虐待の防止が、法、制度的には整いましたが、虐待といわれる適切な関わりとはなにかを知ること、虐待をなくすためには利用者との適切な関わり方を知ることが大切です。本講座では虐待という行為とは何かを学び、事例検討、ロールプレイ等の演習を通して具体的防止策、対策について学びます。				
77 利用者と福祉援助者のメンタルヘルス～タッチングケアと怒りのセルフコントロール～				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	教授 市川 和彦	受講者人数	50名程度
主に言葉によるコミュニケーションが困難な重度の知的障害児者へのタッチング・ケアなどによるコミュニケーションの実際“触れる関わり”と、親・保育者・援助者の感情、特に怒りに対するセルフコントロールについて学びます。				
78 暴力防止サポート				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	教授 市川 和彦	受講者人数	20名程度
突発的な暴力や他傷に対する緊急避難のための技術も大切ですが、暴力や他傷に至る前の対応、普段の関わり合いが大切です。知的障がい者施設等における利用者さんからの暴力・他傷を援助者はいかに理解し対応したら良いかを実技やロールプレイを通して学び、トレーニングします。				
79 障がい児者虐待防止ファシリテーター養成講座				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	教授 市川 和彦	受講者人数	20名程度
虐待防止のためには、それぞれの施設、地域などの身近な場所で小集団によるワークショップ型の取組が有効です。本講座では、ワークショップを企画し、虐待について語りロールプレイなどを通して具体的対策についてリードすることのできるファシリテーターの養成を行います。障がい者当事者の方もぜひご参加ください。 10:00～17:00までのワンデーで実施します。申し込まれた方の都合に合わせて日程を調整します。〔（土）、（日）〕				
80 元気が出るダンス・ワークショップ				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	教授 市川 和彦	受講者人数	20名程度
知的障害や自閉症のある方たちとダンスを通じた交流をします。音楽に合わせて動きをシンクロさせる「シンクロダンス」やヒップホップとエアロビックをあわせたダンス「ダンスビク」で楽しく体を動かします。運動不足解消にも最適です。所要時間は大体60分～90分です。汗をかきますので、着替え、タオル、上履き、のみものをご持参ください。障がいのある方、ご家族、支援者のかたふるってご参加ください。				

81 「触れる関わり」実践編 ～ほっこりリラクゼーションセラピー～				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	教授 市川 和彦	受講者人数	2～10人
主に知的障がい・発達障がいのある方（12歳以上）、施設や事業所の支援者さんなどを対象にします。身体に触れる手技「触れる関わり」を通して体と心の健康を育みます。全身をなでる、手のひら、指を使った押圧、タッピングによるセラピーを体験する中で利用児者さんへの関りについて学びます。				
82 話し上手は聴き上手				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	幼児教育学科	准教授 木村 淳也	受講者人数	30名程度
話が上手な人は、まず相手の話をしっかりと聴いてから自分の意見を伝えるといいます。自分の言葉を相手に受け取ってもらうためには、相手の言葉をしっかりと受け止めることがまず大切です。では、上手な話の聴き方とはどんなでしょう。日頃の会話を思い出しながら、上手な話の聴き方について一緒に考え、体験してみましょう。				
83 意外と知らない福祉の仕事、福祉の資格				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	准教授 木村 淳也	受講者人数	30名程度
「福祉」ということは良く聞くけれど、福祉の仕事ってどんな仕事があるのでしょうか。また、福祉の専門家ってどんな人なのでしょうか。知っているようで意外と知らない福祉の資格、福祉の仕事についてお話します。				
84 地域で安全・安心に暮らしつづけるために				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	幼児教育学科	准教授 久保 美由紀	受講者人数	30名程度 1回まで
自分が暮らしたいと思うところで暮らし続けることは特別なことではありません。でも、現実には難しい課題も多くあります。誰もが自分が望むところで暮らし続けることができる社会をつくっていくにはどうすればよいのか、考えていく機会をつくっていきます。				
85 高齢期の生活と福祉				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	幼児教育学科	准教授 久保 美由紀	受講者人数	40名程度 1回まで
高齢期＝高齢者のことと考えていませんか？「人生100年時代」といわれる今日、よほどのことがない限り、多くの人びとが高齢期を迎えることになります。だれの人生の延長線上にも高齢期はあるのです。高齢期とは、人生のどんな時期なのか、そしてどんな特徴をもつのかを知りながら、誰もが迎える高齢期に自分が考える暮らしを実現させていくにはどうしていけばよいかを考えていきます。				

86 子育て家庭を巡る諸課題ー子ども虐待防止のための基礎を学ぶー				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	講師 鈴木 勲	受講者人数	上限なし
日本における子ども虐待の通告件数は、8万件を超え、政府が統計を取り始めた平成2年から80倍に増加し、毎年、子ども虐待により尊い命が奪われる事案も後を絶ちません。本講座では、児童相談所での児童福祉司の経験や調査研究の成果も踏まえながら、虐待者の心理や子どもへの適切な関わり方、虐待を予防するための方策などについて、基礎的な話をしていきます。				

87 家庭を巡る諸課題ー子どもの貧困と教育問題の基礎を学ぶー				
対象	一般			
講師	幼児教育学科	講師 鈴木 勲	受講者人数	上限なし
日本における子どもの相対的貧困率は、上昇を続け、大きな社会問題となっています。家庭が経済的に困窮しているために進学をあきらめたり、将来的な希望を制限されてしまう子どもが増加していることも事実です。貧困対策推進法が成立し、各自治体の取り組みも整備されてきていますが、本講座では、貧困とは何か、なぜ貧困が生じるのか、貧困の連鎖を断ち切るためにはどのような方策が考えられるのかなどについて、事例を交えながら基礎的な話をしていきます。				

12 幼児・児童に関連する講座

88 「個別育児相談」				
対象	一般（乳幼児の保護者）			
講師	幼児教育学科	教授 郭 小蘭	受講者人数	5名程度
子育ての知識が普及してきている今、保護者の子どもに対する理解が深まりつつ、同時に自分の理想像で子どもをみたり、子どもの気持ちがわかっていない自分自身を責めたりしている保護者。そういう時に身近に「うちも」や「大丈夫だ！」とってくれる誰かがいるとどんなに心強いでしょう。私はその身近な存在の一人として保護者の声を聴き、個別相談に応じます。「個別育児相談」を企画してくれる所にいきます。				

89 音で遊みましょう				
対象	中学生・高校生			
講師	幼児教育学科	教授 河原田 潤	受講者人数	50名程度
「音を出す」というのは、楽器等の道具を扱うだけではありません。私たちの日常の身の回りにある物で、意外な物から意外な音が出せたら楽しいですね。そんな音の出る物を作って鳴らして遊んでみませんか？新たな発見があるかもしれませんね。保育者として、子どもと良い時間を共有するきっかけはそんな所にもあるかもしれませんよ。そして音で遊びながら、一緒に保育の事も学びましょう。				

90 幼稚園の先生・保育士を目指す生徒さんたちへ				
対象	中学生・高校生			
講師	幼児教育学科	教授 河原田 潤	受講者人数	上限なし
「先生」という言われる職業は数あれど、その中で保育園・幼稚園の「先生」という立場が一番重要であると思います。それは幼少時に経験することが、その人の一生を左右するきっかけになることも多いからです。子どもは「遊ぶ」事から色々な事を学びます。本講座は「遊ぶ」事を通して、将来幼稚園の先生、保育士を目指すために必要な技術や知識と一緒に学び、これからの目標を共に考える場にしたいと考えます。学校単位でも歓迎します。				

91 子ども理解と支援				
対象	幼稚園教諭 保育士			
講師	幼児教育学科	講師 吉田 亜矢	受講者人数	10名程度
日々想い悩みながら保育されている幼稚園教諭、保育士を対象とします。受講者の事例をもとに乳幼児の理解を深め支援につなげられるように参加者の皆様とともに学び合ひましょう。				
92 子育て相談				
対象	乳幼児の子どもをもつ母親			
講師	幼児教育学科	講師 吉田 亜矢	受講者人数	5名程度
お母さんも一人で悩みを抱え込まず、日々笑顔で子どもを向き合っていたきたいという願いから、乳幼児期の子どもをもつお母さんを対象とし、子育て支援の一環で乳幼児期の発達や関わり方等それぞれの悩みを共有したり、お母さん同士の交流を深め、子育ての活力になるような温かい雰囲気のを目指します。ご要望によっては個別相談も受け付けます。ご要望の方は予めご連絡ください。				
93 子どもの話を聴こう				
対象	乳幼児の子どもをもつ母親			
講師	幼児教育学科	講師 吉田 亜矢	受講者人数	10名程度
乳幼児期の子どもは幼稚園や保育園で様々な葛藤を経験しそれを乗り越えて成長していきます。そんなときに一番の支えになるのがお母さんが話を聴いてあげることです。お母さんの存在が子どもにとって一番の支えになりますので十分に話を聴いてあげてほしいと願っております。子どもの葛藤を支え、自己決定を促す話の聞き方を学びましょう。				
94 幼児期および児童期における体力の現状と体力向上への取り組みについて				
対象	一般（保育士、幼児保護者、児童保護者）			
講師	幼児教育学科	講師 渡部 琢也	受講者人数	40名程度
幼児期および児童期における体力の現状についての理解と発育段階における体力・運動能力の特徴を理解することを目的とします。体力・運動能力を向上するに当たり、取り組むべき内容についても理解していきたいと考えます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。				
95 体づくり運動				
対象	小学生・中学生・高校生・一般（小中高教諭、児童保護者、運動指導者等）			
講師	幼児教育学科	講師 渡部 琢也	受講者人数	40名程度
学校教育における体育の体づくり運動について理解を深めます。体づくり運動に含まれる多様な動きをつくる運動遊びについても学びます。幼児期から児童期における必要となる運動について理解を深めます。理論編と実践編および理論実践編のプログラムがあります。				

96 みがいて、みがいて！				
対象	幼児、小学生			
講師	幼児教育学科	講師 葉山 亮三	受講者人数	25名程度
道端に落ちている石。彼らはでこぼこ、ざらざらしています。そして普段目にする彼らの色は、本当の色ではありません。丁寧に磨き上げると、スベスベ、つるつる、ピカピカと質感が変わっていきます。そして、ピカピカと磨き上がったとき、彼らは本当の色味を見せてくれます。石のもつ素材感、魅力を、皆さんの手で引き出してあげましょう！				

97 点で描く、プラネタリウム				
対象	幼児、小学生			
講師	幼児教育学科	講師 葉山 亮三	受講者人数	20名程度
夜空に輝く星。小さな星、暗い星、大きな星、明るい星、みんないろいろな点。集まって見える夜空の美しさは、みなさんもご存知の通り。今回、蛍光塗料を使って、いろいろな点を描きます。描き上げた作品をブラックライトで照らしてみると、自分たちの夜空が輝きだします。完成して、体感する、自分達だけのプラネタリウム。				

98 つながる形、変身する形				
対象	幼児、小学生			
講師	幼児教育学科	講師 葉山 亮三	受講者人数	30名程度
どの家庭にもある洗濯バサミ。つまんで、つまんで、つないで、つないで。簡単に形が広がっていきます。触覚を使って、構成を楽しむにはとても優れた素材です。私はその洗濯バサミを4,000個ほど持っています。4,000個使ったら、それはどんな姿になるのでしょうか。手を使って形作る、構成遊びです。				

99 光のおもいで、日光写真				
対象	小学生、中学生、高校生（幼児でも問題ございません）			
講師	幼児教育学科	講師 葉山 亮三	受講者人数	20名程度
写真とは何でしょうか。現代はカメラがとても身近な存在です。思い出の記録として、簡易に用いることができます。写真はもともとフィルムを使っていました。今回はその原始的な仕組みを体験できるように「感光紙」を用いた写真体験を行います。誰でも簡単にできる、この技法で、青写真を描きましょう。				

13 教養に関連する講座

100 ロジカルシンキング 一課題解決に向けたスキルアップ				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	産業情報学科	准教授 青木 孝弘	受講者人数	30名程度
ロジカルシンキングとは論理的思考を指し、地域・職場・家庭等いろいろな場面でこれまでの「常識」にとらわれずに、課題の発見・整理・解決に向けて筋道を立てて考えていくスキルが重要になってきています。本講座では、事例を踏まえながら、応用倫理学やロジックモデルの基本を学習します。				

101 英語発音トレーニング				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	幼児教育学科	准教授 若林 達司	受講者人数	10～15人程度
題名の通り、英語発音のトレーニングを行います。自分の発音のどこがよくないのか？どんなふうに発音すればいいのか？発音のコツは？発音が上手くなればリスニングの力も一緒に上がります。正しき発音は正確なリスニングに通じる。今後の英語学習の仕方を英語発音トレーニングのワークショップも交えながらお話ししたいと思います。				

102 国際学力調査の結果をどう考えればいいのか？～OECD-PISA調査を例に～				
対象	中学生・高校生・一般			
講師	幼児教育学科	講師 櫻井 直輝	受講者人数	原則上限なし(申込時にご相談ください)
この講座では、OECD（経済協力開発機構）が実施するPISA調査（Programme for International Student Assessment, 生徒の学習到達度調査）を例に、「学力」の測定結果をどう解釈すればいいのかについて「考えること」を目的に、解説と問題例を使用したテスト体験を行います。				

9 栄養・健康に関連する講座

103 きのことについて				
対象	高校生・一般			
講師	食物栄養学科	准教授 武井 利之	受講者人数	上限なし
お店で売られているきのこ達の故郷は森林や草原です。自然界での、きのこの働きや生活について紹介します。また、天然のきのこ栽培されるきのこの違いや、きのこがどのように栽培されているか、食品としてのきのこの特徴、最近の研究事例などについても紹介します。				

104 「食と健康」				
対象	高校生・一般			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
食物摂取の基本、日本型食生活、糖質制限、血糖値、生活習慣病、百寿者、健康寿命、時間栄養学、生き生き活動、肥満、AMPキナーゼ、アディポネクチンなどの用語を交えながら、健康維持・増進を図るための具体策を論じます。講座内容は対象者に合わせて調整します。				

10 食品・調理に関連する講座

105 「大豆の魅力」				
対象	中学生、高校生、一般			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
食物としての大豆の魅力を、日本人の食生活、畑の肉、アミノ酸スコア、ベジタリアン、豆腐、豆乳、味噌、納豆、機能性成分、大豆オリゴ糖、イソフラボンなどの用語を交えながら、わかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。				

106 「作物のもたらす栄養成分」				
対象	中学生、高校生、一般			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
<p>作物は様々な魅力ある成分を、私たちに提供してくれています。作物がどのような環境下で関連成分を合成しているのかを、光合成、でん粉、グルコース、緑黄色野菜、機能性成分、フィトケミカル、ストレス付与、浸透圧、甘味、うま味、抗酸化、ポリフェノールなどの用語を交えながら、わかりやすく解説します。加えて、ヒトが関連成分を摂取した際の効用についても説明します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>				
107 「果物の効用」				
対象	高校生、一般			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
<p>果物は、糖分の取り過ぎに注意すべきとされていますが、最近になって、果物の機能性が注目されるようになり、果物を意識して摂取すべきとの声が強くなっています。本講座では、いかなる果物にどのような健康効果が期待されるのかを解説します。また、加工処理した果物に付与される特性についても説明します。</p>				
108 「D-アミノ酸と食物」				
対象	中学生、高校生、一般			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
<p>アミノ酸は、三大栄養素の一つであるたんぱく質の構成成分であることはよく知られています。その一方で、アミノ酸にはL体とD体が存在することはあまり認識されていません。一般代謝系に組み込まれるアミノ酸は、たんぱく質を構成するアミノ酸を含めて、全てL体です。ゆえに、生体内で機能しているアミノ酸はL体がほとんどです。最近になって、D-アミノ酸が生体内で重要な役割を果たしていることが明らかにされつつあります。D-アミノ酸が「コク」をもたらすなど、食の分野での意義も知られつつあります。本講座では、食との関わりを意識しながら、D-アミノ酸の特性をわかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>				
109 「呼吸と発酵」				
対象	中学生、高校生			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
<p>生物は、食物を摂取することにより生命を維持できています。生物は体内で、食物に蓄えられているエネルギーを、自身が生きるために必要なエネルギーに変換できるからです。本講座では、最初に、ヒトの体内でなされている「好気呼吸」による変換方法を、次いで「発酵」による変換方法を示します。その際、炭水化物、グルコース、酸素、水素、酸化、還元、好気、嫌気などの用語を使いながら順序立てた説明を行います。本講座をとおして、生物進化の一端が把握できるようになります。</p>				
110 「発酵食品の魅力」				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
<p>塩こうじあるいは醤油こうじがブームになるなど、発酵食品が見直されています。本講座では、日々の食生活に欠かせない発酵食品を例示しながら、発酵食品の魅力を伝えます。あわせて、発酵食品の製造原理や発酵微生物についてもわかりやすく解説します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>				

111 「水あめのおはなし」				
対象	小学生・中学生・高校生・一般			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
<p>筆者らは、南会津地域でなされている「麦芽水あめづくり」に興味を抱き、食科学に関わる調査研究を行っています。得られた研究結果の一端を、「いちからつくるあめ」(本間裕子・真鍋 久編 農文協)と題する絵本形式の書籍で紹介しています。本講座では、「水あめ」や「あめづくり」について、この書籍に示されている内容を交えながら、わかりやすく説明します。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>				

13 教養に関連する講座

112 「地表における食物成分の循環」				
対象	小学生、中学生、高校生			
講師	特任研究員	真鍋 久	受講者人数	上限なし
<p>私たちは、日々、食物を口にしています。食物には様々な栄養成分が含まれており、摂取した食物中の各成分は、消化器官で消化・吸収されたあと、細胞内に取り込まれて代謝されます。これらの代謝物は、体成分にされたり分解されたりしながらそれぞれの役目を果たします。その後、関連成分は地表に放散されます。次いで、微生物等により無機化され、さらには植物等により同化されたあと、動植物を介して食物にかえられます。私たちはその食物を摂取しますが、食物中の各成分のその後のゆくえは、上述したとおりです。これらから、食物成分は地表で循環していることがわかります。こうした食物成分の循環サイクルが滑らかに稼働すれば、地表における環境悪化の低減化につながります。講座内容は対象者に合わせて調整します。</p>				